

地域密着型サービス評価の自己評価票

グループ ホーム さら

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	○	全職員が地域性を考え、ホームは地域の中での暮らしの場であり、活動の場であることを理解し、認知症の方々が地域の馴染みの方々と職員に見守られ、その人らしく、ありのまま、ゆったりと生活していけるような関係づくりに取り組んでいきたいと思います。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	○	今後も日々の御利用者の方々一人ひとりのケアの中で、具体的に取り組み努めていきます。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	○	地域住民の一人ひとりの方々に信頼されるホームを目指し、入居を考えている御利用者の方々が、そのサービス提供を安心して使って頂けるように地域の方々と全職員が一緒に関わりを持ちながら、認知症の方々を理解し馴染みのあるその場所で支援していけるよう努めていきます。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		今後も一部の職員だけでなく、全職員で声掛けをし、御近所付き合いが継続し広がっていきけるような取り組みに努めていきます。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		職員の勤務体制を整えながら地域活動への取り組みに努めていきたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>保育園児さんの慰問を御近所の方(高齢者の方)にお話ししたところ楽しみにしてくださり、当日には早々ときてくださって御利用者様との交流が自然にできました。また、地元の中学校の職場見学体験として利用して頂いています。</p>		<p>地元で介護に困っている方にアドバイスや介護の仕方を教える介護教室が出来ないかと検討した事があります。今後も、地元の小学校や中学校の総合学習の場として利用して頂いたり、近所のお茶のみ場・寄り合い的に利用して頂けるようにしていきたいと思います。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自施設のみならず他施設の評価をプリントアウトして職員に回覧し、実施の意義を理解して頂くと同時に一人一人が項目を分け合って取り組み検討しました。</p>		<p>評価結果については真摯に受け止め具体的な改善結果を行うべくスタッフ会議の議題に取り上げ検討を行い共通な見解のもと努力していきます。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>偶数月に運営推進会議を開催し状況報告や地域性を含んだ御意見・御指導を頂くとともに御利用者の方々の親睦を深めて頂いています。また、同じ系列の他施設の見学も行い地域情報の共有と共に親睦の場を設定させて頂いています。</p>		<p>今後も地域の方々の思いをお聞きしながら、ホームとしての活動や地域の方々が目指す活動への参加が出来る状況を努力して行きます。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>毎月、御利用者の方々の入居状況及び活動報告書を作成し報告しています。また事業所便り『さら便り』を生活写真を盛り込み報告書とともに提出し御指導して頂いています。</p>		<p>今後も市町村からの指導のもとホーム内の質の向上のみならず、地域サービスに視点を向け質の改善・向上に努力していきます。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見制度についてはすべての職員に説明を行っています。しかし、それらを活用できるまでの実践力は身につけていない状況です。</p>	○	<p>今後も課題として、知識の学習と理解を継続して行っていきます。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待に関する勉強会を事業所内で行っています。また、虐待を生み出さないよう、介護ストレスや人間関係を常に把握・調整に努めています。</p>		<p>今は、大丈夫ではなく、常に継続し把握・調整に努めています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約締結・解除時には運営規定や重要事項説明書等に基づいて、家族の納得が得られるよう十分な説明を行うよう努めています。</p>	<p>今後も慎重にすすめさせて頂き、特に実際にかかる経費については見学時においてもパンフレット上にも掲載してある金額にて介護度に応じた明細を確認して頂きながら御家族の方々に説明不足でないよう取り組んでいきます。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>御家族の方々の面会時等に、把握した御利用者の苦情・不満・御要望は管理者と現場職員が情報を共有し、随時改善に向け検討し合い取り組みを行ってきています。</p>	<p>玄関に要望及び苦情に関する受付箱を設置し取り組んでいますが今後、さらに第三者への相談窓口、公的窓口の紹介、御家族アンケートへの機会体制を整え努力をしています。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族面会時には生活状況について職員の方から細やかに報告しています。また、臨時受診を伴う体調状況、入・退院時、においてもその時だけでなく経過状況を御家族へ連絡・報告し、一緒に考えて頂いて、御家族が施設と情報を共有することで安心を得るよう努めています。</p>	<p>職員異動については、ホームの御利用者、ご家族様本位の勤務体制を実現していくためにも十分検討し合い慎重に考察し取り組んでいきます。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>御家族の運営推進会議委員への参加や、御家族本位の時間帯の面会時等において御家族が気軽に意見を言える環境づくりにおもてなしの気持ちを持ち管理者と現場職員が取り組んできています。</p>	<p>○</p> <p>御家族がホームの生活に気兼ねなく参加できるよう個々の御利用者の生活スタイルに合わせ御家族と相談し合い企画し、活動の機会づくりをしていきたい。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員からの提案は適宜、管理者に直接伝えて貰ったり、スタッフ会議への議題にしたりしています。また、会社のマネージャーや管理者による職員個人面談を時折実施しており、意見の反映に取り組んでいます。</p>	<p>現場職員が率直な意見を持てるような支援体制と、その意見が運営に反映できるように組織内の方針や実践活動の定期的な見直しをしていきたい。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>行事や緊急・臨時受診などの状況に対し、柔軟に勤務変更を行い、対応に努めています。</p>	<p>○</p> <p>今後も現場サイド状況に応じた柔軟な対応が行われるよう普段から全職員間で業務に対する内容の検討を行い、必要状況に応じた統一的業務に関して一体感が持てるようにしていきたい。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の退職の際はうやむやにせず誠実な姿勢で説明と挨拶を行い、諸問題の軽減対応に努めています。</p>	<p>今後も変化に対する受け入れを全職員で共有し、お互いに支援し御利用者や御家族の方々や諸関係者の方々への影響が軽減されるように努めています。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<input type="checkbox"/> 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内独自で独自の研修資料・研修会を持ち教育支援体制が行われています。また、受けた内容の反映を他の職員へ伝え共有しています。	<input type="checkbox"/> 今後も職場内で参考となる資料や図書を職員で回覧したりして職場内全体の向上に努めていきます。また、外部での研修や他事業所との相互研修に参加出来るよう支援体制を整えていきます。
20	<input type="checkbox"/> 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同地域内のグループホームとの交流を大切にし機会あるごとに相互間訪問をしています。	<input type="checkbox"/> 交流のみでなく、目的を持ちサービスの向上につながるような活動方向にしていきたい。
21	<input type="checkbox"/> 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員間の気分転換になるよう、時折共に食事をしたりしています。	<input type="checkbox"/> 今後も他事業所との交流を持ちながら介護上のストレスを発散できる企画・活動をしていきたい。
22	<input type="checkbox"/> 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々の職員が将来性について考え、様々な資格修得への挑戦ができるよう支援しています。	<input type="checkbox"/> 職員の個性に応じた課題の提供や、お互いに一体感を感じられる様なイベントの企画・実施を試みていきたい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<input type="checkbox"/> 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所初期の段階で職員の方から密かに関わる様に配慮し、気付いた事や本人からの訴えを記録や申し送りなどで情報を職員間で共有し統一的な関わりを持てるよう図っています。	<input type="checkbox"/> 今後ご家族の方々の協力も得ながら、御本人にとって大切なことや出来事をしり、それを支えられるような信頼関係の構築をしていけるよう努力していきます。
24	<input type="checkbox"/> 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居希望時(見学時から)管理者・ホーム長より、御家族からの相談や不安内容について、電話対応なども含め丁寧な対応に努めています。	<input type="checkbox"/> 今後も御家族が気兼ね無く相談出来るよう、言いやすい環境づくりに努力していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御本人と御家族様の心身状態や経済状況などを勘案し、当事業所以外のサービスが適していると判断された場合は、他の事業所を紹介するなどの相談・調整・支援(他事業所への手続き等)をしています。		今後も継続し御利用者の生活が安心して続けていけるよう十分に検討仕合ながら御利用者本位の支援に努めていきます。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	初期は御本人と他の御利用者間、職員間との関係構築に努め、御本人の信頼と安心感を得られていく中で、ニーズを探るようにしています。また、御家族の方からは入所以前の様子などの情報を頂き、関わりや環境作りの参考にさせて頂いています。		今後も、御家族の方々とも信頼関係を図りながらご協力を得て、御利用者が生活に安心して馴染んでいただけるよう努力していきます。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	全職員は、御利用者の方々ひとり、ひとりのその人らしさを尊重し、誇りや、プライバシーを考慮した言葉がけを意識して行えるよう努力し、共に気持ちを伝えあい共有できる生活をめざしています。		職員中心・業務中心のケアではなく、その日、その時、その人から自然に発せられた欲求や感情を大事にする為に業務管理を最小限に試みたりしながら、御利用者の持っている力を活かして頂けるように努めていきます。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	機会ある毎に日々の生活状況を御家族に知ってもらい状況に応じて協力して頂ける関係作りを心がけています。		今後もご家族の気づき等を遠慮なく言える環境を整え、何でも積極的に伝えて頂けるようお願いしつつそのことで、御家族の負担にならないよう配慮し必要に応じて協力して頂ける関係作りを心がけていけるよう努力していきます。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入所後も家族との良好な関係を継続して頂けるように、御利用者の様子を掲載した事業所便りを毎月家族に送付したり、面会時にも御家族にゆっくり過ごして頂けるよう配慮しています。		今後も何気ない生活の状況を定期的にお知らせし、いつでもホームへ来られた時には、御利用者の方と気軽に声を掛け合い、ふれ合いが出来る環境を提供出来るように努めていきます。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人・友人の面会時に職員が丁寧に対応し、ゆっくり過ごして頂けるよう配慮しています。		今後も、御利用者を知る方々との交流が途切れないよう機会に応じた場面を大切に对应させて頂きながらホームでのイベントや慰問等のお知らせもお伝えし一緒に楽しんで頂けるように努めていきます。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	御利用者の方々の一人一人のその人らしさや、他者の方々の人間関係の様子を考察し、御本人の意向を重視させて頂きながらレクリエーションや家事支援等への参加活動がスムーズに出来るよう職員は段取り設定を行っています。		今後も自然と御利用者の方々がお互いに声掛けあつて家事作や趣味活動等ができるよう状況を見極めながら職員は介入し和気あいあいの場面づくり、環境づくりに努力していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後も気兼ねなく御家族が相談に来所されています。管理者が御家族の心配されている事柄を丁寧に随時受け付け、御家族とともに必要に応じて依頼事項の対応をしています。		退所後も生活環境や介護の継続がスムーズに行っていくよう支援体制の向上に努め継続できるよう努力していきます。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	御利用者のその人らしさを日々の観察を通して把握し、御本人の意向を重視しながら信頼関係を構築する為に、接する時間・話をする機会をなるべく多く持つように全職員で検討仕合ながら努力しています。		御利用者の方々の思いや生活の詳細等を全職員で把握できるよう努め、全職員が一人一人の方々の個別を重視した対応を統一したケアとしてサービス提供出来るように努力していきます。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の生活の中、御利用者の身の上話や御家族や友人から面会時に聞いた事などを記録に残し、ケア状況に応じた関わりの中で声掛けを工夫したりして活かしています。		御利用者の方々、ひとり、ひとりの大切な経験や出来事を回想し合える場をたくさん作り、生き生きとした生活が保たれるよう努力していきます。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	各勤務時間帯でその方の過ごした様子を記録に残すようにし、御利用者の方々ひとりひとりの個別した生活のリズムや傾向を把握して介護の質の向上に努めています。		出来るだけ馴染みの持ち物を生活の中に取り入れ、安心した環境の中、心身の良好な状況と生活の安定が図れるよう努めていきます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	現場職員(担当職員が御利用者や他、職員からの情報や意見をアセスメント)とともにケアマネが御利用者の意向や状況の観察を行いながら、また御家族の思いをお聞きしたり、主治医や看護師とも意見交換を行い介護計画を作るように努めています。		御利用者や御家族の思いが日々の生活に実践的に活かし反映できるよう努めていきます。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3カ月毎に見直しを行い、御本人や代弁者である御家族と面談の上、承認を得ながらすすめています。日々の生活の中での変化に対しては処遇会議で、御利用者の変化への対応方法を検討し随時実践にて試み調整していくよう努めています。	○	3か月に1度の見直しを行っていますが実施期間の中で、御利用者の主体性を重視しながら達成状況やその計画(サービス提供)が合っているのかの見直しを全職員で検討する機会も多く持っていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の実戦情報や観察、気づきは口頭の申し送りの他に個別に記録に残したり、担当職員とのカンファレンスやスタッフ会議で検討仕合い全職員が周知しながら進めています。見直し内容がより適切であるよう努めています。		その人らしさを全職員が理解し、御利用者の思いが計画に活かせる御利用者が生き生きと安心して生活できるよう記録にとどまることなく実践・反映していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	全職員は、日頃から御利用者や御家族の意向を十分に把握しサービス提供できるよう柔軟な業務体制を敷き、信頼関係を気づけるよう努めその時々々に応じた支援が円滑に出来るように努めています。		選択肢を多く提供出来るような環境整備に配慮し、サービスの質に反映できるよう努めていきます。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	保育園の慰問(遊戯・歌・御利用者の方々との手遊び等の直接の交流)は今年度2回予定。すでに5/11に1回目をほのぼのとした時間の流れを園児の皆さんとともにすごしました。また、有志の方々による昔懐かしい出し物の慰問も8/31にお話を頂いています。		他、幼稚園・小学校・中学・有志の方々からの要請がある時には、随時御利用者の方々の充実した生活の広がりを図れるように努めて支援してまいります。※中学校の職場体験見学等への受け入れ対策にも学校関係者の方々との関係づくりを行いながら認知症の方々に対する理解と協力を得られるよう努めてまいります。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	マッサージを希望している御利用者の方には定期的な訪問マッサージや理美容を希望される方には訪問理美容サービス等を支援していますが、まだまだ他のサービス提供を実現できるよう御利用者・御家族・全職員・他事業者の方々との話し合いの機会を多く取れるようみんなで意見交換が出来るように努めてまいります。		今後も、御利用者や御家族の意向や御要望に応じて、相談・検討仕合ながらすすめ、他・関係事業者の方々の協力を得られることができるよう必要に応じて見学会の企画・調整を図る等の試みを行い支援に努めてまいります。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	入居御利用案内説明時には御利用者や御家族へ説明していますが、まだまだ専門的な知識を持つての状況に応じた対応へは、十分な取り組み姿勢が必要です。全職員が理解し知識を得、反映できるよう努めてまいります。	○	認知症の方々が地域で安心して生活が継続できるように掲げられている、法的サービスの保証(最低基準の権利)やホームでの理念にもとづく生活の保証(暮らしの権利)をホーム側からも積極的に協働していくよう努めてまいります。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医による定期往診や、日々の体調状況に変化があった際は、御家族へ、状況報告を行い受診への承諾も頂きながら御協力(受診時に反映できる情報)の助言を仰いでいます。		受診後も受診結果をお伝えし、さらなる情報を共有し今後のケアに活かせるよう努めてまいります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		<p>主治医への上申と共に、主治医からも必要に応じて(御家族の意向も確認の上)紹介状を通して専門とする医師へ認知症、周辺症状から見られる精神への状況等を相談・協力して頂き御利用者の診断・治療と共にケアの対応へも反映しています。</p> <p>今後も、医師の指示や助言を御家族と共にいつでも上申し相談に応じて頂けるよう努めていきます。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		<p>ホームのすぐ近くに住む正看護職員をお願いしています。</p> <p>日々の健康管理や処置対応についても必要に応じて随時相談し体調状況の変化を早期に気づき、治療が必要な場合の判断を検討仕合い早期の対応に努めています。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		<p>入院時より御利用者の心身の不安を少しでも軽減できるよう御家族と担当医師さんや看護現場の職員さんとの話し合いを持って対応しています。</p> <p>今後も継続して病院の関係職員の方々との信頼関係を保ちながら御利用者の心身の精神的軽減につながるような対応体制に努めていきます。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		<p>担当医師や看護師との連携を密にし、御家族と共に終末期に関しての今後の方向性を話し合う機会を段階に応じて行っています。</p> <p>今後も御家族と共に、医師・看護師・専門関係者(病院の相談員も交え)との話し合いの機会を交え話し合い共通な方向性を持ってかかわれるよう努めていきます。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		<p>終末期に向けての方針が決まった際は、御家族に対し同意事項を確認して頂き、有事における意思確認のもと、かかりつけ医や看護師、ホーム職員が対応状況時の状態について報告・連絡しています。</p> <p>今後も特変時における医療機関との連携体制がスムーズに行えるよう努めていきます。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		<p>御利用者や御家族と十分話し合いを持ち御利用者の思いを大切にされた対応を行い御利用者へのダメージを最小限にとどめられるよう支援に努めていきます。</p> <p>退所後も御利用者の生活環境や介護の継続がスムーズに行っていけるよう支援体制の向上に努めます。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		<p>御利用者の方々が、ひとりひとりその方らしい尊厳ある事を大切に考え、また権利が保障されるよう、日々関わる職員の在り方を確認していくよう努めます。</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		<p>信頼関係の構築や一人ひとりのニーズに沿えるよう、業務の見直しを行い対応困難な事柄に関してもは納得されるまで傾聴し、声掛けを行い混乱の無い様努めていきます。</p>
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		<p>日々の安定は職員のペースになり易い状況です。随時見直し、ひとりひとりに合せられるよう職員は状況を把握し、ゆっくりとした時間の過ごし方を大切に保てるよう努めていきます。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		<p>まだまだ支援体制を整えていく必要があると思います。御利用者の方々、ひとりひとりの思い、個性、今までの生活習慣等を踏まえ、細やかな対応が行えるよう努めていきます。</p>
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		<p>食べることへの楽しみや生きがいを引き出せるよう職員は、まだまだ工夫し参加して頂けるよう一部の職員のみならず段取り設定の努力を必要としています。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		<p>嗜好品の支援は、甘いもの、辛い物にとどまらず御利用者の方々ひとりひとりが自由に選択し喜ばれるよう随時考えて提供していく必要があります。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	尿意・便意を訴えない方に対しても、安易におむつを使用せず、排泄記録表、排泄の兆候から排泄リズムを観察し、出来る限りトイレ誘導にて排泄が行えるよう努めています。		今後も、体調状況も踏まえながら安全に誘導し気持ちよく行えるよう職員は御利用者の方々の状況観察を随時行い職員間の連携対応を行いながら努めていきます。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	御利用者が気持ちよく入浴できる時間に沿うように、業務として入浴の時間帯や曜日は設定しないようにしています。		今後も、御利用者の方々が混乱なく気持ちよく入浴できるよう随時職員間で情報を共有し合い連携対応を行い、努めていきます。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	御利用者の方々の一人ひとりの疲労度や生活リズムの把握に努め、自然な休息・入眠が出来るよう声掛けを工夫しながら対応しています。		夜間、認知症状の進行と共に覚醒される方もいます。ゆっくりと対応し混乱を最小限に軽減できるような声掛けやお茶を飲んで頂いたりしながら無理なく、不安なく、安眠できるように導く対応に努めていきます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	御利用者の方々はきっかけを作って声掛けすると簡単な家事作業を職員とともにして頂くことが可能ですが、認知症の進行と共に一部の方々に限られています。		職員は御利用者の方々の持つ個性や出来る役割を見極め把握し、日々の生活の中に活かせるよう環境の整備や選択肢の提供をまだまだ工夫し対応していかなければならない状況です。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の管理能力の残っている方には、その残存能力を活かしてもらおう事を尊重し、身の回りの品物を自己決定して買えるように支援しています。また、御家族に協力をお願いし御利用者の意向に沿うように一緒に考えて頂いています。		買い物に行く機会を増やす体制を整え一部の職員のみならず全職員が状況に合わせて対応出来るよう努力していかなければならない課題です。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	健脚な利用者のみならず、車椅子の方でも近隣を散歩できるようにお誘いしています。また、外庭の草むしりやミニ畑での農作業を行ったりと屋外での活動も徐々に行っています。		一部の職員のみならず全職員が状況に合わせて対応出来るよう努力していかなければならない課題です。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ドライブ、買い物など、外出の際は少人数単位で、出来るだけ希望の場所に沿うように配慮しています。また、受診なども家族の協力をお願いし、受診帰りなどに御家族と共に食事をする機会を作ったりして頂いています。		今後も継続して対応していけるよう一部の職員のみならず全職員で努力していかなければならない課題です。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	認知症の進行とともに一部の御利用者の方以外は電話の声が認識出来ない状況ですが御家族は皆近くの方々が多く月に2～3回ほど面会に来て頂けています。		ホームから御利用者の方々の日々の状況を御家族へ時折報告し連絡を行っています。御家族も御都合に合わせて面会に訪れています。今後も継続し来所し易い状況を整えていけるよう努めていきます。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	御家族や知人・友人が訪れた時は、御利用者の意向をお聞きし居室やフロアのいずれかの選択のもとくつろいで頂けるよう対応しています。また、来訪者の方の意向も伺い過ごして頂いています。		今後も、一緒にお茶を飲まれたり、居心地よく過ごして頂く為の配慮に努めていきます。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	車椅子からの立ち上がりによる転倒防止の為に、居心地の良いソファへの誘導介助や見守りと声掛けによる対応を行っています。また、ベッドからの転落防止にも御家族への説明と同意に基づく御協力により鈴やブザーでの対応を行うと共に頻回の巡視をさらに行う対応をしています。		すべての職員は身体拘束に対する認識をしていますが、認知症の進行と共にベッドからの転倒事故を防ぐにはどうしたら良いか一人夜勤の状況下、日々課題は緊急であり、もともと真剣に徹底して取り組まなければならない状況です。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関や非常口など、鍵はかけず、スタッフの見守りで対応しています。夜間に関しては、外部からの防犯上、施錠をして対応させて頂いています。		今後も御利用者の方々が自由に外に出られるよう安全に見守り対応に努めていきます。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は常に利用者の所在と状態把握に努めています。特に日中は玄関に施錠していない事もあり、見守りと様子観察を重視し安全の確認を行っています。		今後も職員はさりげ無く御利用者の方々の状況を観察しながら安全の確保に努めていきます。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品でも、それぞれの利用者の管理能力と状態に応じて危険予測を行い、職員との関わりと見守りの範囲で対応可能であれば使用して頂いています。		今後も御利用者継続して使用していけるよう安全管理を確認しながら努めていきます。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットを導入し、危険と思われる事柄については、その都度資料を回覧して全職員が周知確認し合えるようにしたりスタッフ会議で検討仕合い事故防止に努めています。		今後も事故回避への取り組みを職員が一丸となって行っていかなければならない状況です。常に職員間の申し送り事項を確認し合い御利用者の方々の日々の安全を確保できるよう努めていきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時に備え全職員は、緊急対応マニュアルを確認していますが定期訓練の体制は整えられていません。早急に対応策を検討していかなければならない状況です。	○	今後、全職員は定期訓練を行い、いざという時に適切な行動が取れるよう実現可能な対応策の定期訓練を行わなければならない状況です。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	6/8避難訓練に参加し消防隊員による指導を受けています。次回は12月予定です。地域の方々の参加をお願いして避難訓練を行うよう努めています。		今後も全職員が災害を意識して訓練に臨み、熟知出来るよう努めていきます。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	持病や心身の状況により起こりうる事態と、その対応については、御家族に報告し、理解して頂いています。その上で制限の少ない生活環境を全職員で検討しています。		今後も御家族への連絡・報告を十分にし御家族の理解を得ながら安定した生活が送れるように努めていきます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一日一日バイタル測定を行い、記録、伝達し、24時間体制で体調管理を行っています。異変が有る時には、些細な事でも記録しています。	○	今後も全職員が御利用者の変化に早期に気付けるよう観察し対応に努めていきます。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各薬の効能や用法については看護師より正しい確認・方法を指導して頂き、職員が一人ひとりの疾病を把握し、服薬に関しては飲み込むまで見守りを行って、確認をしています。		今後も慎重に服薬管理の対応に努めていきます。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	適度な運動や軽作業、入浴時などに腹部マッサージを行っています。また水分摂取量の調節や食べ物(プルーンやピルクル等)も取り入れ、排便サポートを行っています。		今後も全職員で便秘解消の為に意識して取り組み対応に努めていきます。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	御利用者の方々に毎食後、口腔ケアを行って頂いています。必要に応じては声掛け、見守り、介助にて洗浄行、夕食後には義歯をお預かりして、義歯洗浄剤に浸け、翌朝にお返しています。		今後も継続して御利用者の方々一人ひとりに応じた声掛け対応と共に努めていきます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	好きな飲み物を把握し、常に数種類揃えており、配茶の時間にもこだわらず随時飲みたい時に飲んで頂き、水分が一日の必要量摂取できるようにしています。食事にも、その方に応じた食事量・形態を提供しており、またフロアにはその日の食事メニューを表記し、嫌いな食べ物等には代替えなどで柔軟に対応できるようにしています。		今後も、御利用者の方々の体調管理や精神面の状況を観察・把握し、少なからず多からずしてバランスが取れるよう対応に努めます。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	面会者・関係者には、入室時に必ず手洗い・うがいをお願いしています。また、感染症流行期にはにかかわらず必要に応じてマスクの着用をお願いしています。※御利用者の方々にも外出時後、手洗い・うがいをその都度行っています。		今後も全職員が意識し感染予防の体制のもと安全継し対応に努めていきます。
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具は清潔に気を配り、所定の位置に管理しています。また、調理器具、食器などはその都度熱菌消毒を行い、まな板、ふきんなどもハイター浸け、又は熱湯で殺菌消毒をしています。食材は食中毒予防を配慮し、新鮮であるよう管理に努めています。		今後も全職員が意識し食中毒予防の体制のもと安全継続対応に努めていきます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前にはプランターを配したり、玄関内に花を飾って来所の方を快く歓迎出来るように努めています。また、御利用者が履物を安全に履けるよう、ベンチシートを置いたり、庭までの区間をスロープにて安心していけるような作りになっています。		一部の職員のみならず、全職員が親しみやすい環境づくりや安全性を認識して考えていかなければならない課題です。
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テーブルには毎日様々な季節の花を飾り心とむよう心がけています。また、ベランダにも季節の花のプランターを配し、居間からも季節感を感じ心穏やかな環境を心がけています。		今後も四季感への関心や快い生活館を感じられるよう共有空間への工夫が継続して試みられるよう全職員が意識し取り組んでいくよう努めていきます。
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳部屋を多目的に使用しています。静かに過ごしたい人や読書をした方、またテレビを観たい方などそれぞれが自分の居場所を見つけられるような各場所にソファーや椅子を設置しています。		全職員は、御利用者ひとりひとりの暮らし方を見守りながら、1日の生活の流れが御利用者ひとりひとりの望む状況に合わせてかわり、必要に応じて柔軟に変えていく姿勢への改善も含めて努めていきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具や身の回り品等、御利用者の使い慣れたものを持ち込んで頂いたり、御家族との写真や趣味の物を飾る等、環境づくりをしています。		その人らしい生活が落ち着いて過ごせる空間を継続して提供出来るよう安全に配慮しながら努めていきます。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各居室やフロアーには換気装置を設置してあります。共通の空間フロアーは広いガラス戸の開口が可能です。状況に応じては、消臭スプレーを使用しながら快く気持ち良い生活が継続できるよう日中は窓を開け、換気を行っています。※各室冷暖房完備にて、気候に合わせた室温対応ができます。		御利用者の方々一人一人の体調状況を常に観察し出来るだけ自然環境に近づけるようまめに室内環境を整え調整し安定した生活が提供出来るよう努めていきます。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	内部はバリアフリーで要所に手すりが配してあります。		御利用者の方々一人一人の心身状況に合わせて全職員が関わり危険防止や御利用者の持っている力を出して頂く工夫を図り、安心・安全に環境整備にあたるよう努めていきます。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	御利用者が御自身の部屋であるのがすぐに確認できるよう『のれん』を使用したり、お部屋の位置が『つきあたり』等の理解し易い箇所であったり、御利用者の生活行動範囲も考慮しています。	○	思いがけない事柄によって不安や混乱につながらないよう御利用者の方々のその時々状態を観察・把握し職員間で情報の共有を行いながらいつでも状況に合わせて対応出来るよう努めていきます。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	フロアーの前には、幅1m程のベランダが設置してあります。洗濯物も職員と共に御利用者が自ら干したりできます。また建物に付属する、庭にはいつでも腰をかけたお茶を飲んだり出来るテーブルとベンチを配置してあります。		室内での充実のみならず、外気や自然に触れられるよう、機会をたくさん作り戸外で過ごせる工夫を図って対応出来るよう努めていきます。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

○共同空間における居場所の確保を行っています。思い思いに、また気のあつた御利用者同士でのんびり、過ごす空間。